

2 ページ

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年4月～2014年3月

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

56名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

大阪市教育委員会・校長会・NPO法人JAE・大阪市教育振興公社

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

0

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

無

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

大阪市に住み暮らす大人 200 万人

Objective 目的

説明：(例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

次の 3 点を事業目的とした。

- ①大人たちが子どもたちの模範であることを認識してもらうこと。(最重要目的)
- ②大人たちが、子どもたちの想像力を引き出すこと。
- ③大人たちが社会全体で子どもを育てる意識を高めること。

今の社会は、大人と子どもが触れ合う機会が少なくなっているため、大人は大人の世界になり、従来当たり前であった、大人は子どもの模範であることを忘れてしまっている。我々の最重要目的でもある、大人たちが子どもたちの模範であることを認識することで、常に子どもたちに見られているという意識が芽生え、大人の行動や言動が変わる。子どもは大人を見て育つため、大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば未来が変わる。また、色々な大人との会話が減ったことにより、子どもたちが色々な話を聞くことや、経験ができなくなっている。そのことを改善するために行う事業である。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

・ LECTURE ON DEMAND

働いている人が講師として、小学校や中学校で講義を行う。

学校数：50 校

授業数：71 クラス

生徒数：4000 人

・ 講師の募集

メンバーと地域の企業にチラシ配布や、訪問し募集をした。学校がある地域の企業が講義することで、企業の地域に対する社会貢献が可能なる。

・ 講義するための講師育成

育成では、子どもを対象とすることを前提に講義の進め方や、資料の作成方法、伝え方を学ぶ。

育成数：50名

・子どもインタビューの実施

講義終了後の宿題とする。講義の内容や感想を大人に話す機会を作り、インタビュー方式にすることにより、大人も話す機会を作る。

・メディアへのアプローチ

講義を新聞や、インターネットに掲載することで、さらなる広がりを作り出す。

掲載数：4回（新聞3回・ネット2回）

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

①大人たちが子どもたちの模範であることを認識してもらうこと。

働いている人が小学校や中学校で講義をすることで、子どもと関わる機会が増え社会の現状を知ることができ、子どもたちの模範であることを認識できた。

②大人たちが、子どもたちの想像力を引き出すこと。

子どもたちがまだ知らない世界を、子どもにも理解できるように講義をしたため、子どもたちの想像力を引き出すことができた。

③大人たちが社会全体で子どもを育てる意識を高めること。

①②の結果をもって、大人は子どもの模範となることを認識し、行動や言動が変わった。子どもは常に大人を見ています。大人が変われば子どもも変わるため、社会全体で子どもを育てる意識が高まった。

Actions Taken 行動

説明：

2013年2月

教育委員会、校長会への協力要請

2013年3月

講師育成プログラムの作成

2013年4月～2013年6月

講師募集（メンバー及び地域の企業にチラシ配布及び企業訪問）

2013年4月～2013年8月

小学校への講義募集（小学校310校に訪問）

2013年6月～2013年8月

講師育成（育成プログラムを使用）

2013年9月～2014年3月

講義開始

（随時）

講義リクエストに応じて、講義内容を検討

講義終了後、アンケート及び子供インタビューを回収。

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

- ・大人と子どもが関わる機会を増やすことができる。
- ・大阪市のまちの大人が誰でも教壇に立つことができる。
- ・色々な大人の講義を聞くことで、子どもたちの未来の可能性を増やすことができる。

事業としては素晴らしいが、きちんとした仕組みが出来ていないし、学校に訪問して説明等をしてはいるが、まだまだ認知度が低い。

方法としては、まず全ての学校に同じように事業内容を理解してもらうために、統一されたプレゼンテーションの資料を作成します。そうすれば、学校は必ず講義を受けたいと感じます。こちらから、講義をさせてほしいとお願いするのではなく、学校からの希望で講義をしていく形が理想と考えます。学校から講義の申し出があれば、講師が必要となるため講師募集、講師育成が不可欠となりますが、一度講師経験があれば何回も講義が出来るので、講師数は増え続けます。講師が増えることで、色々な講義が可能となり、さらに学校からの申し出が増えます。重要なのは、学校からの申し

出がくるような映像化されたプレゼンテーション資料を作成することだと考えます。

部門 Long term Local Community program

3 ページ

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

What were the long term objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい

次の3点を事業目的とした。

- ①大人たちが子どもたちの模範であることを認識してもらうこと。(最重要目的)
- ②大人たちが、子どもたちの想像力を引き出すこと。
- ③大人たちが社会全体で子どもを育てる意識を高めること。

今の社会は、大人と子どもが触れ合う機会が少なくなっているため、大人は大人の世界になり、従来当たり前であった、大人は子どもの模範であることを忘れてしまっている。我々の最重要目的でもある、大人たちが子どもたちの模範であることを認識することで、常に子どもたちに見られているという意識が芽生え、大人の行動や言動が変わる。子どもは大人を見て育つため、大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば未来が変わる。また、色々な大人との会話が減ったことにより、子どもたちが色々な話を聞くことや、経験ができなくなっている。そのことを改善するために行う事業である。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのようにJCIの活動計画と合っていますか？

この事業は、2014年の行動計画にある「影響力」「意欲」「投資」「協働」「つながり」この5つの行動のうち、「影響力」「投資」「協働」「つながり」の4つの行動を可能とする。

まず、投資金額が0円での運営が可能で、誰でも講師になることが可能であり、また一度講師になれば、永久的に講師をすることができる。これは、事業を継続的にいくためには非常に重要であり、他に与える影響力は計り知れないほど大きい。それは、講師だけでなく、その講義を受けた子どもたちや、その保護者にも影響力を与えることが可能である。また、他の講師の講義を聞くことにより、考えや行動力に相互刺激を感じ相乗効果も期待できる。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

0円

講義は、どのような形でも出来るため、講義内容、講義方法を予め0円にした。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、JCIのミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

【JCI ミッション】

①講師の募集

メンバーが、地域の大人に事業内容を説明をする必要があるため、事前に事業内容や目的を知ることが出来た。

②講義

講師が、子どもたちの前で、講義するために表現力・伝え方を学ぶことが出来た。

③学校との打合せ

講師や学校と関わったメンバーは、子どもたちの現状を知ることが出来た。

【JCI ビジョン】

①講師の育成

講師として育成された人は、講師を育成できるようになった。

②講義

学校で講義をするので、1度にたくさんの子どもたちに影響を与えることが出来た。

ページ 4

By number,how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

56

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOMメンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

事業全般をとおして10名×5チームで構成し役割を分担。

小学校に募集・案内

4～5月末、地域の小学校350校へ一校ずつ訪問し担当教師に説明。1チームは進捗状況の管理、1チームは実施スケジュールを管理

講師募集と講師育成プログラムの随時実施（5～2月末）

1チームは5月から地域企業・団体や地域の大人を対象に講師の募集を開始、授業を成功に導くために、外部協力教育団体と連携し講師育成プログラムを構築。

小学校から依頼を受けてから実施までの流れ

チームごとに担当の学校を分担

事業の依頼を受け学校側と打合せ

2か月前 講師を選定

1か月前 講師育成プログラムの実施と授業内容打合せ 2～3回

3週間前 プレスリリースの作成とメディア向けPR活動

2週間前 参加メンバーの確定

1週間前 シナリオ、備品等、準備物を調達

事業当日 実施3名以上

講師 1名

撮影 1名

タイムキーパー 1名

アシスタント0～20名

講義内容により必要人数が変化するがこれは利点の一つで、人数に合わせた講義内容を作り実施することが可能。

ページ5

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

地域に住み暮らす大人,地域の企業・団体に対しての講師育成セミナー時のアンケート、そして社会人講師として教壇に立った数、受講人数、実施校数で広がりを検証し授業終了後におこなうアンケートにより査定した。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

- ・講師の育成セミナー時のアンケートにより、参加した大人の 90%が、子どもの模範となっている事の大切さを認識した。またその講師が子どもたちと関わる機会をもつことで再認識出来た。
- ・受講した子どもが大人へのインタビュー方式のアンケートにしたことで、子どもが大人と話す機会を作ることが出来た。
- ・講義を 71 回開催し、1 人の子どもに対し 2 人の大人にインタビューをするアンケート方式にすることにより、12000 人の人々に、大人と子どもの明るいビジョンを考えるコミュニケーションの重要性を意識させることが出来た。
- ・講義後のアンケートで 70%の保護者が、社会全体で子どもたちを育てることが必要だと回答し、地域の大人に自らが子どもを見守り育てる意識を持たすことが出来た。

ページ 6

Impact on Local Organization LOMへの影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

- ・講師を募集することで、色々な人と接し話す機会が増えるので知名度が上がった。また、講師を募集するために、本人のプレゼンテーション能力を向上させる事ができ、JCI 大阪メンバーの能力の底上げとなった。
- ・学校で講義をすることで、保護者にも認知度が上がり、保護者と接する機会が増えたため、JCI 大阪への入会の可能性を増大させた。
- ・学校と協力関係にあるため、教育委員会からの信頼が上がった。また学校から再度講義の依頼があるため、継続的な事業になることができた。

How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか？

①講師の募集

メンバーが、地域の大人に事業内容を説明をする必要があるため、事前に事業内容や目的を知ることが出来た。

②講義

1年間を通じて、講義回数を71回実施することで、メンバーが関わる機会を提供出来た。講師が、子どもたちの前で、講義するために表現力・伝え方を学ぶことが出来た。また、色々な講師と関わる機会となるため、自分の知らない世界を知ることができ成長することが出来た。

③学校との打合せ

講師や学校と関わったメンバーは、子どもたちの現状を知ることが出来た。

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

・2007年から始まり、授業数が年々増加していることから、働いている人による講義が大阪全体に広まり、学校の必修科目となる。そうなれば、大阪だけに留まらず全国的に広がり、日本にとって必要不可欠な事業となる。

・事業に関わった大人が子どもの模範であることを認識し、行動や言動が変わる。

・そんな大人を見て育つ子どもは、大人になっても子どもの模範であることを忘れない。

・模範であることを認識できている大人のサイクルが出来上がり、未来は全ての地域で子どもを育てる社会になる。

What changes Would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

全ての学校に同じように事業内容を理解してもらうために、統一されたプレゼンテーションの映像資料を作成します。そうすれば、学校は必ず講義を受けたいと感じます。こちらから、講義をさせてほしいとお願いするのではなく、学校からの希望で講義をしていく形が理想と考えます。学校から講義の申し出があれば、講師が必要となるため講師募集、講師育成が不可欠となりますが、一度講師経験があれば何回も講義が出来るので、講師数は増え続けます。講師が増えることで、色々な講義が可能となり、さらに学校からの申し出が増えます。